

「救い主であるイエス様」

私がイエス様をどのようにして信じるようになったのかをお話したい。

クリスチャンになる前、私はかなり自己中心に生きていた。クラスメートや他人の悪口を平気で言い、人のことを中身で判断しないで、外見で判断していたことも多々あった。また、いつも自分が一番だと思って他人を見下し、常に周りの目を気にしていた。そして、小学校低学年の頃にいじめにあった時は、正直人生が面倒くさかった。小学4年生のとき、いきなり父の転勤により、アメリカに行くことになり、心が落ち着かない状況のまま渡米した。

引っ越すことは嫌だったが、そこで今でも私の親友の一人である友人に出会うことができだ。彼女の心の底から来る優しさに触れ、私にはない「何か」が彼女の人生の中にはあるのだと思っていた。それが何かと分かったのは、彼女と出会ってから2年後のことだった。

ある日その子が教会に誘ってくれた。ちなみに私の当時の気持ちは、教会に行くのはアメリカ人やヨーロッパ人がやっていることだと思いこんでいて、何となくカッコいいと思ったから軽い気持ちで行っただけ。しかし、実際に行ったときは本当に驚いた。教会に行くのはカッコいいからではなく、神様を賛美するために行くのだと気づいた。その後も、私の親友は教会に何回か誘ってくれ、何度か教会に行った。また、帰国間際には、彼女から聖書をもらい、読み始めたが私には何を言っているのか全く分からなかった。このように私は教会や聖書に触れ始めたものの、彼女とゆっくり話す間もなく、日本に帰国することになってしまった。帰国後しばらくして、私は日曜日に教会に行き始め、ある青年牧師に出会った。彼は、イエス様の愛について教えてくれ、私は自分の罪に気づいた。そして、人生には、神様に従わないで自分に頼って生きる生き方か、神様に信頼を置いてイエス様の死と復活に信頼する生き方の二択のみしかないと知った。このとき、自分に頼って生きることに限界を感じていた私はイエス様のために生きたいと思い、彼と一緒にイエス様を受け入れるお祈りをし、クリスチャンになった。

そう。つまり、このイエス様という存在が、昔の私になくて、私の親友の心にあったもの。

イエス様は私に大きな影響を与えてくれた。こんなに愛され、守られていると思ったことは今までなかった。だからこそ、神様は本当に素晴らしいと思っているし、神様は私の唯一の希望なのだ。神様は私のために良い計画を持っているから、私はポジティブに考えることができるようになった。

人生で問題に直面することはたくさんあるが、神様と一緒に乗りこえればいいのだと思うと、自分がどれだけ深い恵みを受けているか、ということに気づくし、以前あんなに適当だった人生を変えてくれてありがとう、という神様への感謝の気持ちで溢れている。